

# 新都市医師会長の紹介

寿都医師会会長

祁答院 尚嗣 先生



平成28年9月1日、前寿都医師会会長の秀毛寛己先生の後任として、祁答院尚嗣先生が寿都医師会第12代会長としてご就任されました。

先生は昭和40年生まれの51歳です。医師家系である祁答院家4代目として、平成3年に杏林大学をご卒業され、同大学消化器外科に入局されました。小平市にある公立昭和病院にて研修をされた後、同大学附属病院、沼津市にある沼津西病院、福生市の目白第二病院にて11年間ご活躍されました。平成14年、御祖父様が開院された祁答院医院を継承するため、寿都へ戻ってこられました。

寿都医師会は昭和23年1月26日の設立以来、南後志にある寿都町、黒松内町、島牧村の医療へ貢献してきました。現在5医療機関11名の会員から構成され、非常に小さな医師会ではありますが、歴代の会長を筆頭に、会員が一丸となって地域の安定した医療体制構築に向けた取り組みを推進してまいりました。

た。しかし、都市部から離れ、各機関とも物理的に距離がある地域において、専門職が高いモチベーションを保ち、共に学びあうことはそう容易なことではありません。祁答院先生は会員同士が相互に交流し合い、悩みを打ち明けられ、共に前進できる医師会を目指し、さまざまな場をわれわれ医師会員に提供しようと考えておられます。

就任直後の9月9日に開催した救急勉強会では、各医療機関の多職種と各町村の救急隊員が意見交換し、親睦を深められるよう症例検討会、懇親会を行いました。共に助け合い、地域への最大限の価値提供を目指す新たな寿都医師会の記念すべき事業となりました。

先生は最近、息子さんの野球観戦や、奥様とのテニス、ならびに連日のランニングをご趣味とされ、愛妻家かつ子煩悩でもあられます。文武両道で心優しく、地元愛に溢れる祁答院先生ですが、これからも今まで以上にお忙しい日々が続くと思われまます。どうぞ御身を大切にされ、益々のご活躍をされますことを心よりご祈念申し上げます。

寿都医師会  
理事・北海道医報通信員 中川 貴史

お知らせ

## ストレスチェック制度 サポートダイヤルおよびQ&Aのご案内

◆北海道産業保健総合支援センター◆

平成27年12月から、常時使用する従業員に対してストレスチェックを実施することが事業者の義務となりました。

そこで、ストレスチェック制度でお悩みの実施者、事業者、制度担当の皆様へご案内です。

◎労働者健康福祉機構では、「ストレスチェック制度サポートダイヤル」を開設しました。

これにより、産業医、保健師などストレスチェックの実施者、事業者、衛生管理者等ストレスチェック制度担当者などからのストレスチェック制度の実施方法、実施体制、不利益な取り扱いなどに関する相談にお答えします。

電話番号：全国統一ナビダイヤル 0570-031050 ※相談は無料ですが、通話料がかかります。

受付時間：平日10時～17時(土曜、日曜、祝日、12月29日～1月3日は除く)

◎厚生労働省では、今まで受付けた質疑につきまして、厚生労働省のホームページに「ストレスチェック制度関係Q&A」を掲載しております。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>